



気をつけよう！冬みちでの転倒

ウィンターライフ推進協議会 作成・提供

2023年度冬期は、転倒による救急搬送者数が12月～3月で1748人と過去最多となりました。

滑りやすい場所に注意しましょう



つるつる路面ができる条件を知っておきましょう

- 厳しい冷え込みの時よりも -2°C 前後の時につるつる路面ができやすくなります。
- 横断歩道などでは冬みちの表面が車のエンジンの排熱でとけ、タイヤが磨かれて滑りやすくなります。
- 朝9～10時の時間帯や急激に冷え込む時間帯は、転倒事故が多いので注意が必要です。



認知症になっても 暮らし続けられる地域づくり ～チームオレンジの活動～



今年度より、中央区、東区、白石区、厚別区、手稲区の5区でモデル事業としてチームオレンジの活動が開始されました。

各地域包括支援センター毎に活動が行われていますが、当センターでは8月から本格的に活動を開始しています。

🦌 認知症サポーターステップアップ講座の開催 🦌

チームのメンバーとなるオレンジサポーター養成のため、認知症サポーター養成講座を受講した方を対象に、活動に必要な知識や技術の習得を目的とした講座を開催。1月現在で17名の方が受講し、オレンジサポーターとして活動されています。

🦌 スマイルオレンジチーム元町④番出口 🦌

認知症の方や家族、オレンジサポーターが集う常設の活動拠点です。当センターでは8月から当センター2階会議室にて毎週水曜日13:00～17:00に活動しています。

認知症の方がしてみたいことを聞き出し、実現するための活動や介護する家族の息抜きの場として様々な活動を行っています。

開催状況としては、認知症の方とオレンジサポーターが合わせて5～7名参加し、オータムフェストへの外出レク、麻雀やモルックなどの拠点でできる遊びなど企画から準備まで参加者で協力して行っています。

「認知症の親を介護していた経験を役立てたいと思った」
「自分もいずれ認知症になるので、その時のために仲間を作りたい」などオレンジサポーターの方々は様々な動機で参加されています。認知症のことに興味・関心のある方はぜひ1度足を運んでみてください。



開催日は看板を設置しています

🦌 個別のマッチング 🦌

認知症の方や家族の外出支援や自宅に伺う出前支援を行います。当センターでは出前支援としてオレンジサポーターがご自宅に訪問し話し相手や趣味活動の支援を行っています。



《担当者》
オレンジ
コーディネーター
宮田

札幌市東区第1地域包括支援センター

〒065-0023 札幌市東区北23条東15丁目5-26
昌栄堂ビル 3階

ヨイローゴ

TEL011-711-4165 FAX751-3272

※番号をご確認のうえ、おかけ間違いのないようにお願いします

窓口相談：月～金 8:45～17:15

